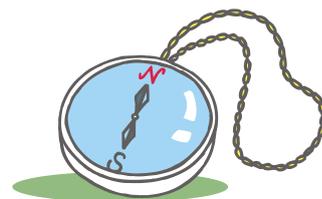


# 羅 針 盤

第 **22** 号

令和5年10月30日（月）



## ◆ 「相手に勝つより、自分に克て」

いよいよ明日は、合唱コンクールです。この1か月余りの間に、どの学級も懸命に明日の合唱コンクールに向けて練習を積み重ねてきたことでしょう。合唱は、生徒の皆さんもよく理解しているように、個人競技ではなく、学級という集団としてのまとまりの成果が表れるものです。その成果は、学活や給食、清掃、あるいは、日常の学習活動の延長線上にあるもので、一人ひとりがお互いのコミュニケーションといったものを心掛けてきた結果の一つとして表れるものであると考えることができます。合唱コンクールに限ることではなく、学校で取り組まれている学校行事は、それぞれが学校生活の節目となって、その後の学校生活の質が高まっていくことでこそ意味あるものになっていくのではないのでしょうか。また、自分の事よりも他の人のために動くことを優先する「利他の心」を養い、「相手に勝つということよりも、自分自身に克つこと」に意義を見いだして、初めて人としての成長が育まれていくものであると考えます。合唱コンクールを終えて、その結果として賞状がもらえることは確かに喜ばしいことではありますが、合唱コンクールの目的は賞をとることではなく、学級

としてのまとまりを追い求めることにあるはずで、合唱を通じて、自分たちにとって大切なことを考え、そして、行動へとつなげていくことに意義を見つけること、つまりは、合唱コンクールはゴールではなく、学級がより一層深い繋がりを築きあげていくための一つの通過点であることに気づき、賞状の出ないところでこそ一番になることの意義を追い求めてもらいたいと思います。合唱コンクールの取り組みを通じて、生徒の皆さん一人ひとりの大きな成長を期待しています。



## ◆ 光れ作品！動け心！輝けみんな！

今年の文化発表会に向けたメインテーマは「光れ作品！動け心！輝けみんな！」です。今週末に行われる文化発表会に向けての準備も万全かと思えます。先日、あるテレビ番組で、今年で生誕120年を迎える版画家の棟方志功（むなかたしこう）が紹介されていました。彼の作品は、版画という枠に収まることなく、とてもカラフルであり、躍動感があり、彼の持つ作品に込められた情熱やエネルギーといったものを感じ取れるものがたくさんあります。ヴェネチア・ビエンナーレ（現代美術の国際美術展覧会）での受賞を始めとする「世界のムナカタ」として国際的な評価の高い版画家である彼は、版木すれすれに眼を近づけて猛烈なスピードで彫っていく技法が特徴的でもあり、とてもエネルギーギッシュな達観した姿でもありました。自らの作品を「版画」ではなく、板の声を聞き、板の命を活かす「板画」だと宣言していた彼の作品は、自分の目で捉えた人間や自然のイメージを独自のスタイルで再構成しながら、大胆な造形と奔放な筆致で描かれており、多くの人々に感動を与えるものとなっています。文化発表会でも、生徒の皆さんが作りあげた多くの感動に期待しています。